

令和5年度 マンション管理士試験解答速報 【11/26 20:30版】

問1	1	問11	4	問21	2	問31	3	問41	1
問2	3	問12	4	問22	2	問32	3	問42	1
問3	4	問13	2	問23	2	問33	3	問43	2
問4	3	問14	3	問24	2	問34	3	問44	3
問5	3	問15	4	問25	1	問35	4	問45	2
問6	3	問16	2	問26	3	問36	2	問46	4
問7	2	問17	1	問27	4	問37	3	問47	3
問8	2	問18	2	問28	4	問38	2	問48	3
問9	3	問19	3	問29	4	問39	3	問49	1
問10	1	問20	4	問30	3	問40	4	問50	2

※後日情報を更新する場合もございます。あらかじめご了承ください。

※この解答速報の著作権はTAC (株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。

※TACの予想合格ラインは[12/6\(水\)](#)に発表予定です。あらかじめご了承ください。

TAC マンション管理士講座

令和5年度マンション管理士試験講評

（本試験所感）

全体的な難易度について、民法に関する新論点や区分所有法に関する細かい判例、標準管理規約に関する実務色の強い問題が出されており、昨年より難しくなったと思われる。問題形式では、個数問題が昨年より1問減り8問、組合せ問題が1問増え2問出題された。過去問論点はしっかりマスターし、1問も落とさない対策が求められる。

（民法・区分）

出題形式としては、個数問題は民法・区分所有法で3問出題された。また、昨年と同様に被災区分所有法と建替え等円滑化法が1問ずつ出題された。内容的には、民法、区分所有法とも昨年より若干難しかったと思われる。民法は、占有権、使用貸借、事務管理といったマイナーな論点が出題されたので、対応に苦慮された方も多いのではないかと推測される。また、法改正の施行日に注意を要する問題もあった。区分所有法は、条文の正確な知識を要する問題と問題をよく読みこんで解答しなければならない問題が混在しており、条文の正確な知識で解答する問題で確実に得点できたかがポイントになると思われる。

（規約・会計）

標準管理規約は全体として基本的であったが、「外部専門家の活用ガイドライン」が出題されたことが特徴である。不動産登記法は昨年に引き続き難問であった。また、会計は、仕訳と残高証明書が出題されたが、いずれも過去問をしっかりと解いていれば得点できたのではなかろうか。

（維持・保全）

設備系法令等は過去問で対応できる問題が多く、昨年度と同等程度の難易度だったと思われる。また、昨年度は個数問題が1問出題されたが、本年度は出題されず、代わりに組合わせ問題が2問出題された。直近に出題された過去問や繰り返し出題されている重要な過去問をどれだけ正確に覚えられたかで、合否を分けたと思われる。

（適正化法）

個数問題は、昨年より1問増え4問だったが、組合せ問題は出題されなかった。昨年同様、解答が出しにくい問題も含まれており、難度は高かったと思われる。今年も、近年の改正論点が中心となり出題されていた。